

魅力ある地域づくりを目指して

味方コミ協だより

■発行責任者
味方地区コミュニティ協議会
会長 坪井和之
新潟市南区味方1544番地
TEL (025) 372-6805



2018年3月31日
第35号

味方地区の世帯と人口
(平成30年1月末現在)

【味方地区】
世帯数：1,396世帯
人口：男 2,080人
女 2,178人
計 4,258人

【南区】
世帯数：15,865世帯
人口：男 22,000人
女 23,269人
計 45,269人

※この調べは転出予定者を含んでおりません。

笛川邸で

来て　きて　笛川邸　お正月編

『お餅つき・ふるまい餅』

一月二十八日(日)、笛川邸で昔ながらの臼と杵を使つた餅つきをして、入館者に餅つき体験をしてもらいながら、餅と豚汁をふるまいました。

今年は何年かぶりの大雪でしたが、当日は風もなく穏やかな大候に恵まれ、親子づれなど大勢の入館者で賑わい、一五〇食用意したあんこ餅・きな粉餅・豚汁は全部ふるまいました。

その後、地元に伝わる「西白根神楽舞」「味方音頭の踊り」「昔話・民話語り」を披露し、味方の良さを大勢の皆さんから味わっていただきました。

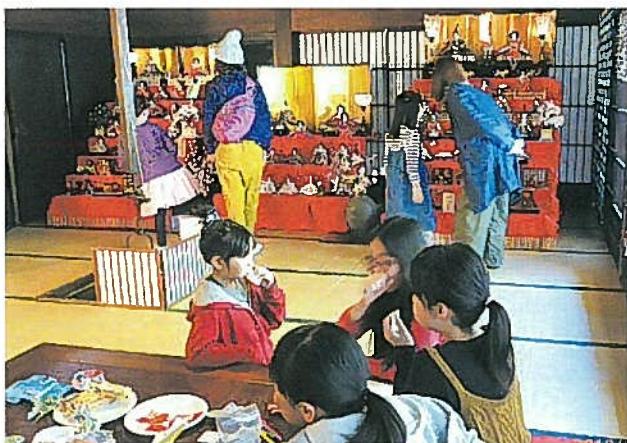
この事業は、南区役所地域課の委託で味方地区コミュニティ協議会が企画・実施したものです。ご協力いただきましたのは、JJA越後中央農協味方支店女性部、味方中学校、西白根神楽舞保存会、味方地区老人クラブ連合会、笛川邸ボランティアガイドの会の皆さんです。ありがとうございました。





笹川邸おもてなし事業

ひな祭りを 楽しむ会



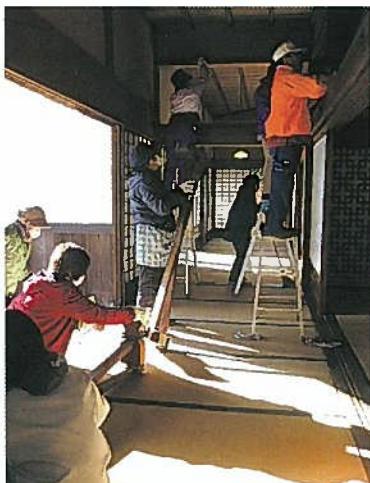
三月四日（日）、地元の子どもたちが大勢集まり、観光客も交えながら、今年から三セットに増えたひな段飾りのおひな様を囲み、お茶や雛あられを食べながら、ひな祭りを楽しみました。

この事業は新潟市の補助事業によるもので、コミ協の教育・文化・スポーツ部と笹川邸ボランティアガイドの会で実施しています。

地域の宝『笹川邸』を きれいに

12月28日（木）、笹川邸の年末の大掃除・すす払いを実施しました。当日はコミ協役員のほか、味方老人クラブ連合会、西白根婦人会、七穂婦人会の協力をいただき、総勢45名で大広間・囲炉裏の間・土間などの梁や天井のすす払い・疊拭きなどを行いました。

今年も12月に実施いたします。どうぞボランティアで笹川邸において下さい。



二月十四日（水）、南区役所において南区避難所運営体制連絡会が開催されました。

この連絡会は、指定避難所に関する自治会の代表、施設の管理者、避難所指名職員を対象に、避難所で起きた課題に対応して、これまでに決めた避難所の部屋割りや検討した各班の役割等が、適切か確認する

災害に備えて



その後、避難所毎に「様々な相談への対応を考える」避難所運営模擬訓練を行い、避難所運営委員会が自ら判断・対応できるように訓練を行つたり、役割分担をしておくことが大切であることを学んだ研修でした。

最初に中越地震及び熊本地震での実例を挙げて「避難所とは？避難所運営とは？」についての講義があり、避難所運営には、「不幸な死者を出さないため、みんなで生き抜くため」の目的があることを確認しました。

ために実施されたものであり、今年で4回目になります。





つりお茶会を開きました。保育園で一番小さいクラスのひよこ組さんもお茶券を持って、いざお茶会へ。年長児のぞう組さんからスタンプを押してもらいました。

もう一組さんがお茶とお菓子を運び、「どうぞおあがりください」と深々と頭を下げてご挨拶をすると、お茶を飲んだりお菓子を食べたりする姿がとても可愛らしかったです。ちょっと緊張していたぞう組さんも上手に運ぶことができて自信に満ちた表情を浮かべていました。

外は大荒れの天気でしたが、心がほっこりするお茶会になりました。

ひなまつりにしきね保育園

三月二日は・ひな祭り・あじほ保育園



保育園でも、お茶会を開きました。遊戯室に飾つてあるひな段飾りや子どもたちが作った可愛いお雛様の前で年長児さんが、一日は乳児クラス、二日は幼児クラスを接待し、お茶とお菓子でおもてなしをしてくれました。保育園のお友だちみんなで楽しいひと時を過ごしました。お雛様の前でくじら組さんのご接待をうけ、いつもよりもちょっぴり笑顔の子どもたちでした。

した。

射的やおかしつりなどの遊びブース、ぶんぶんゴマやカズーの工作ブース、焼き菓子・パン販売などといった内容で、大いに盛り上りました。

童館でふゆまつりが行われました。

各ブースには、味方地域の方々からたくさんボランティアに入つて頂きました。館内は、冬の寒さを吹き飛ばすようなたくさんの子どもたちの笑顔で溢れ、とても楽しいおまつりとなりました。

味方児童館

ふゆまつり



この事業は旧味方村名譽村民である曾我量深先生・平澤興先生の生き方や考え方を知り、各自がこれから的人生をどう生きるかを考える機会として、味方中学校三年生を対象に平成六年度から継続して開催しています。



先人に学ぶ集い



平成30年度 味方地区 コミュニティ協議会事業日程

平成30年度のコミュニティ協議会関係の主な事業日程は次のとおりです。その他の事業も順次実施していくので、皆様のご参加・ご協力をお願ひいたします。

- ④春の一斎クリーン作戦 4月8日(日)
- ④コミュニティ協議会総会 4月19日(木)
- ④笹川邸七夕飾り 6月30日(土)~7月14日(土)
- ④味方地区ふるさと納涼まつり 8月4日(土)
- ④味方地区敬老会(七穂) 9月15日(土)
- ④味方地区敬老会(西白根) 9月16日(日)
- ④味方地区敬老会(味方) 9月17日(月)
- ④秋の一斎クリーン作戦 10月14日(日)
- ④味方産業振興祭 11月3日(土)
- ④自治部会自主防災会防災訓練 11月4日(日)
- ④南区総合防災訓練 11月4日(日)
- ④笹川邸繭玉飾り 1月11日(金)~2月8日(金)
- ④笹川邸雛人形飾り 2月8日(金)~3月22日(金)
- ④笹川邸雛人形を楽しむ会 3月3日(日)



▲味方地区老人クラブの皆さんと児童・保護者約80人が西白根・味方・七穂の3チームに分かれ玉入れなどの競技や応援で一緒に汗を流しました。

綱引きの様子。写真は七穂と西白根の連合チーム。▶
思わず応援に出る老人クラブの参加者。



世代間交流レク大会

2 / 25

二月二十五日の日曜日、味
方公民館(分館)で第3回世代
間交流レク大会が公民館・味
方地区老人クラブ・青少年育成
協議会により開催されました。

玉入れ、綱引き、バケツリレー、輪投げリレーなどの種目を大字対抗で競技。寒さを吹き飛ばす熱戦が繰り広げられました。

この大会は地域の子どもたちと保護者、そして老人クラブ員の三世代の交流で地域を盛り上げ、さらに児童と大人の関わりで健全育成を図ろうというものです。子どもの明るい声が響き渡るたびに、会場に笑顔の輪が広がります。笠井老人クラブ会長の「君たちと一緒に楽しかった。本当にありがとうございました」の言葉と参加賞、そして楽しい競技に子どもたちも満足していました。（優勝は西白根チーム）

成人の記念に 「二十歳の自分への手紙」

味方地区青少年育成協議会では小中学校の協力を得て成人の年に開封する「二十歳の自分に向けての手紙」事業を行うことにしました。対象は中学3年生と小学校6年生を3年間継続し3年後からは小学6年生のみになります。

平原大悟会長は「児童だけでなく、若者にも青少年育成協議会が関わらないかと思っていました。この手紙の活動が、味方地区の成人者が集うキッカケになればいいですね」と語っています。



○子どもたちの健やかな成長を願って
「いきいき子ども塾イン妙高」でスキー・ボード体験
おやじの会「お~いよ~の会」・青少年育成協議会

おやじの会「お~いよおの会」(会長今野春信さん)は保護者と地域の方々で構成され、児童らの体験活動や学校支援活動を行っています。また、コミュニティ協議会及びその構成メンバーの味方地区青少年育成協議会も同会と連携しながら活動を行っています。今回は同会主催の「いきいき子ども塾イン妙高」の様子をお知らせします。



リフトに乗つて斜面を滑られるまでに上達。最後には一番上のリフトに乗る児童もいました。他にもスタッフの用意したスキー場での「宝さがし」「ロッジでの食事」「みんなでの宿泊」など、素晴らしい思い出となつたことでしょう。

(この事業に、おやじの会と育成協議会の予算が充てられています)

今回で五回目、二月三・四日で開催されました。参加者は児童・生徒三〇名とスタッフ一七名。

最初、児童らは緊張気味でしたが、低い所で何度も転びながら練習し、

地域の人との体験で成長

◆感想文から

こなければ良かつたと思
いました。でも何回も滑
て少し上手になつたら本
当に楽しくなつて、来て
良かつた。」「リフトに乗
るときドキドキしていま
した。降りるとき一瞬、
心臓がとまりそうになり
ました。でも転ばないで
すべりおりることができ
て良かつたです。」「指
導してくれたボランティ
アさんは優しく、仲良く
なれてうれしかった。」

アルミ缶回収
ご協力有難うございます

おやじの会では偶数月の第3日曜日に(12月～3月は1月のみ)アルミ缶回収を行っています。ご協力大変ありがとうございます。収益は全て児童らの活動費に充てておりますので今後ともよろしくお願ひいたします。



▲リフト、爽快！



▲大分うまくなつたよ



▲宝(お菓子)探し